

福岡市スポーツ推進計画の取組みについて

1 計画の概要（令和4年5月策定）

(1) 位置付け

スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づく計画として位置付けるものであり、国のスポーツ基本計画や福岡市総合計画等を踏まえ、本市のスポーツ施策を推進していく上での基本的な方向性を示すもの。

(2) 計画期間

令和4年度から令和13年度までの10年間

(3) 計画の理念

充実した市民生活と、活気あふれる地域社会を実現するため、すべての人が生涯にわたってスポーツに親しむことができる都市をめざす。

(4) 計画の目標

① スポーツを「する」

目標 1 誰もがスポーツに親しみ、楽しむことのできる環境づくり

② スポーツを「みる」

目標 2 スポーツで夢と希望あふれる活力あるまちづくり

③ スポーツを「ささえる」

目標 3 持続可能なスポーツ活動をささえる基盤づくり

2 令和5年度の主な事業

【目標1】誰もがスポーツに親しみ、楽しむことのできる環境づくり

(1) 福岡マラソンの開催【市民局】

市民スポーツの振興及び地域の活性化を図るため、福岡マラソン2023を開催。

【開催日時】 令和5年11月12日（日）8:10 車いす競技スタート

8:20 マラソン／ファンランスタート

【種 目】

マラソン(42.195km)、車いす競技(5.2km)、ファンラン(5.2km)

【完走者数／出走者数（完走率）】

- ・マラソン 11,824人／12,251人（96.5%）
- ・車いす競技 7人／ 11人（63.6%）
- ・ファンラン 1,791人

【次回大会（福岡マラソン2024）開催日】

令和6年11月10日（日）



(2) スポーツ体験ランド2023【市民局】

子どものスポーツのきっかけづくりとして、競技スポーツをはじめ、ニュースポーツやパラスポーツを体験できるイベントを実施。

【開催日等】

	開催日	参加人数	会場
第1回	5月28日	169人	福岡大学
第2回	7月29日	91人	南体育館
第3回	10月9日	200人	平和台陸上競技場
第4回	11月25日	132人	今津運動公園
第5回	12月23日	107人	早良体育館
第6回	1月6日	109人	福岡市民体育館
第7回	3月23日 (予定)	-	雁の巣レクリエーションセンター



(3) 出前スポーツ塾【市民局】

スポーツを気軽に楽しむ機会の充実を図るため、地域や企業等にスポーツトレーナーを派遣する出前スポーツ塾を実施。

【メニュー】ストレッチ、リズム体操等の有酸素運動、
ニュースポーツ等のレクリエーション 等

【実施回数】18回

【参加人数】451人（※令和6年2月末現在）



(4) 児童生徒の体力向上の推進【教育委員会】

体力実態・体力課題の把握と体力の向上を図る。

○ 体力向上のための指導者研修会

【開催日】令和5年11月22日（水）

【開催方法】対面

【対象】各小・中・特別支援学校教師（198人参加）

【内容】講話・演習：九州産業大学 泉原 嘉郎 講師

○ 体力向上のための連絡会

【開催日】令和6年2月1日（木）

【開催方法】オンライン

【対象】各小・中・特別支援学校教師

【内容】講演：九州産業大学 泉原 嘉郎 講師

○ 小学校体育科学習実技指導員派遣

「陸上競技」「器械運動」「ボール運動」「水泳」領域で、
希望する小学校25校に派遣。

(5) 福岡市スポーツ少年団事業【市民局】

子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供し、スポーツを通じた青少年の健全育成を図る。

(6) 「市民総合スポーツ大会」の開催【市民局】

市民スポーツへの関心と参加意識を高め、市民スポーツの普及・振興を促進するとともに、市民の健康増進と体力の向上を図り、活力に満ちた明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として開催する。

(7) 歩きたくなるまちづくり【保健医療局、区役所】

ウォーキング大会の実施、ウォーキングに関する情報提供。

(8) 「Fitness City プロジェクト」【保健医療局、道路下水道局】

日常の生活の中で、自然と楽しく体を動かしたくなる、仕組みや仕掛けづくりに取り組む。

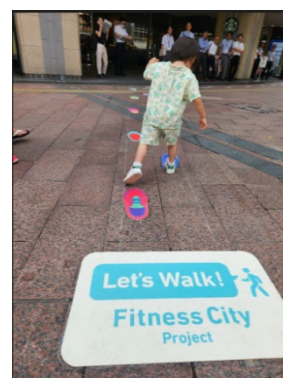
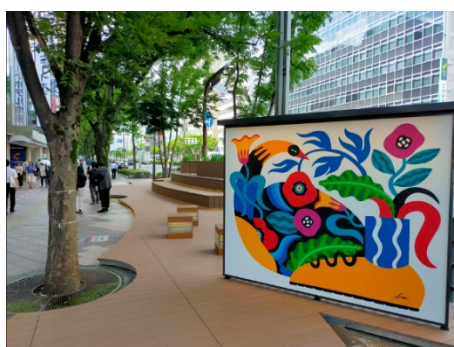
○歩きたくなる歩道の整備

博多駅と祇園駅をつなぐ大博通りの西側歩道において「ひと駅分の歩きを促す、歩いて楽しい空間づくり」を目的に、路面標示や休憩スポット（ウッドデッキ・ウォールアートボード）を整備。

【整備場所】大博通り西側歩道（福岡市博多区博多駅前2丁目1付近）

【供用開始】令和5年7月12日（水）

- 【内 容】
- ・カラフルな足跡の路面標示により、自然と歩きを促す。
 - ・階段ベンチや一人掛けベンチの配置により、憩える小空間を創出。
 - ・Fitness City プロジェクトをコンセプトとしたアート作品を展示。



(9) 健康づくりのきっかけとなるイベントの開催【保健医療局】

市民が自分にあった健康づくりを見つけるきっかけとなるイベントとして、子どもも大人も一緒に楽しく体を動かせる「おもろい運動会」を開催。

【開催日】令和5年10月22日（日）

【場 所】東平尾公園 博多の森補助競技場（博多区東平尾公園2丁目）

【参加者】174人

※競技への参加は小学生以上

【内 容】団体競技：大玉送り、じゃんけん列車、玉入れ

個人競技：リレー、障害物競走、ムカデ競走



【目標2】スポーツで夢と希望あふれる活力あるまちづくり

(1) 国際スポーツ大会の開催【市民局】

世界水泳選手権福岡大会及び世界マスターズ水泳選手権九州大会の開催。

①世界水泳選手権福岡大会 2023 福岡大会

【期 間】令和5年7月14日（金）～ 7月30日（日）17日間

会場	種別	7月																
		14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
マリンメッセ福岡A館	アーティスティックスイミング	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
	競泳										●	●	●	●	●	●	●	●
マリンメッセ福岡B館	水球			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
福岡県立プール	ダイビング	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
シーサイドももち海浜公園	オープンウォータースイミング		●	●		●		●										
	ハイダイビング											●	●	●				

【参加選手数】191 か国・地域、2,361人

【延べ来場者数】302,946人

【世界新記録】10個

【大会新記録】14個

【事前キャンプ】自治体数 20 自治体

参加国数 35 か国 参加人数 890人

【TV視聴者数】130 か国・地域、19億4千万人

【公式SNSアクセス数】約36億5千万件



②世界マスターズ水泳選手権 2023 九州大会

【期 間】令和5年8月2日（水）～ 8月11日（金）10日間

会場	種別	8月									
		2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
マリンメッセ福岡A館	競泳				●	●	●	●	●	●	●
総合西市民プール					●	●	●	●	●	●	●
福岡県立プール	ダイビング	●	●	●	●	●	●				
シーサイドももち海浜公園	オープンウォータースイミング	●	●								
アクアドーム熊本(熊本市)	水球				●	●	●	●	●	●	●
鴨池公園水泳プール(鹿児島市)	アーティスティックスイミング				●	●	●	※	※	●	●

※台風6号の影響により10、11日に延期

【参加選手数】77 か国・地域、7,512人

【延べ来場者数】180,104人

(うち福岡市会場 165,706人)

【世界新記録】33個



③関連事業

大会の開催に合わせ、観戦招待やトップアスリートによる水泳教室等を実施。

○観戦招待事業

- ・市内小中学生・特別支援学校 11,322人
- ・地域 1,765人



○元トップアスリートによる水泳教室

- ・令和4年7、10、11、12月 200人
金藤 理恵氏（リオデジャネイロ五輪 200m平泳ぎ 金メダリスト）
- ・令和5年7月23日 57人
アンソニー・アービン氏（2001世界水泳福岡 50m、100m自由形 金メダリスト）
ラノミ・クロモウィジョジョ氏（ロンドン五輪 50m、100m自由形 金メダリスト）



○現役トップアスリートによる水泳教室

- ・令和5年8月4日 34人
瀬戸 大也選手
（400m個人メドレー 銅メダリスト）
- ・令和5年12月9、10日 51人
鈴木 聡美選手
（50m平泳ぎ 7位入賞 ※福岡県出身）



(2) プロスポーツ等との連携【市民局】

プロスポーツ等と連携し、スタージャンプ福岡などの体験イベントや観戦招待などを実施。

○スタージャンプ福岡 2023 1st

【開催日】 令和5年6月17日（土）

【場 所】 福岡市民体育館

【参加人数】 131人

○スタージャンプ福岡 2023 2nd

【開催日】 令和5年10月28日（土）

【場 所】 福岡大学ラグビーグラウンド

【参加人数】 178人



【目標3】持続可能なスポーツ活動をささえる基盤づくり

(1) 市立体育館・プールの管理運営【市民局】

スポーツを身近に感じることができる施設の管理運営を行うとともに、施設の計画的な改修を行い、安全・安心で、誰もが使いやすい施設を目指していく。

(令和5年度は城南体育館の改修を実施)

(2) 今宿野外活動センターリニューアル【市民局】

今後も野外活動の場として市民に親しまれ、より魅力ある施設となるよう、民間サウンディングの実施など、令和6年度の事業者公募、令和8年度のリニューアルオープンに向けて取り組んでいる。

(3) スケートボードエリアの拡張【市民局】

雁の巣レクリエーションセンター内のスケートボードエリアを約1,000㎡に拡張し、令和5年4月1日(土)に供用開始。

(4) 学校施設の地域開放【教育委員会】

学校教育に支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動や社会教育の場として学校施設(体育館、運動場等)を開放する。

(5) 夏休みプール開放事業等【市民局】

夏休み期間中の子どものスポーツ体験機会の充実を図るため、民間スイミングクラブ等のプールを活用した夏休みプール開放事業と、令和5年4月にリニューアルオープンしたオーヴィジョンアイスアリーナを活用したアイススケート体験事業を実施。

○夏休みプール開放事業

【実施期間】令和5年7月22日(土)～8月27日(日)

【対象施設】市民プール(7か所)、障がい者スポーツセンター、
国営海の中道サンシャインプール、民間スイミングクラブ(23か所)

【参加人数】20,360人

○アイススケート体験事業

【実施期間】令和5年7月22日(土)～8月24日(木)の内、8日間

【対象施設】オーヴィジョンアイスアリーナ福岡

【参加人数】3,328人

(6) スポーツ推進委員の育成【市民局】

スポーツ推進委員の資質向上を図るため、研修や情報提供等を実施する。

(7) スポーツリーダー・バンク事業【市民局】

市民からの派遣要請に対して、スポーツリーダー・バンクに登録された各種スポーツ・レクリエーションの指導者を、派遣・紹介するとともに、市民ニーズにあった指導者の確保と資質の向上に努めるため、指導者に対する研修を実施する。